

幹事会(6/28)での主な指摘事項とその対応

番号	意見	対応内容
1	チャット形式の部分をはじめとして、全体的に文字数が多く、読みづらい。図やグラフを入れるなど、見せ方に工夫できないか。	チャット部分について、文面を精査し、ページ数を削減しました。また、パッケージ内の取組内容についても、内容を整理しました。
2	外部委員会における進捗管理等はどのように考えているのか。個別の事業・取組を扱わないのであれば、何を議論してもらうのか。	委員会における進捗管理の手法については、関係各課に過度な負担が生じないよう、総合計画の施策評価やベンチマークを活用(主要事業を抜粋)することなどを含めて、現在検討中です。
3	「幸福度」という指標は、主観的であり、市民にとって分かりにくいのではないか。	ご指摘の点や、取組の進捗度・達成状況等を判断するための成果指標として直接活用することが難しいことなどを踏まえ、「健幸(=生きがいをもち、健やかで幸せであること)に暮らしていると思う市民の割合」に変更しました。
4	ガイドラインは行政計画として考えているのか。整理されたい。	ガイドラインではなく、「草津市健幸都市づくり基本方針」として策定します。

本部会議(7/5)での主な指摘事項とその対応

番号	意見	対応内容
1	冊子の全体構成が一般的ではなく、チャット形式から始まるなど唐突な感じがするので、導入部分に説明があった方がよいのではないか。	目次部分にその旨を吹き出しで追記しました。
2	第6次総計と計画期間を合わせるのであれば、基本方針の期間も令和3年度からとするべきではないのか。	24頁の計画期間を示す図を削除し、終期(令和14年度まで)の文言のみに変更しました。
3	基本方針の基本理念はどうするのか。	現「健幸都市基本計画」の基本理念である「目指せ、健幸都市くさつ！！～住む人も、訪れる人も、健幸になれるまちを目指して～」を基本的には踏襲しつつ、健幸都市を市民とともに創りあげていくという思いを示すため、副題を「～市民とともに歩む健幸都市づくり～」に変更しました。
4	方針の体系図における各事項について、それぞれ対応する頁を表記してはどうか。	27頁に「基本方針のパッケージ構成」として、各キャッチフレーズの対応頁を追記しました。
5	進捗管理の方法・考え方について、記載してはどうか。	26頁に「進捗管理」の項目を加え、その方法および考え方を追記しました。
6	「幸福度」については、総計の成果指標として導入することの是非について検討した経過があるので確認されたい。また、「健康寿命」は、「幸福度」を構成する要因の1つであることを踏まえ、(指標として導入の有無を)よく検討されたい。	「幸福度」については、上記幹事会No.3の対応に同じ 「健康寿命」の延伸については、現計画でも基本方針「ひとの健幸づくり」における目標として掲げており、単に身体的要因にとどまらず、精神的・社会的要因も広く内包する「健幸」の状態を表す総合的な指標として適当であると考えられることから、引き続き、指標として設定することとします。
7	パッケージ中の「あなたへのメッセージ」の内容について、一部でエビデンスに欠け、行政が発信する情報として適切でないものが含まれているので、精査されたい。	内容を精査し、メッセージを変更しました。
8	パッケージ1の中に「世代ごとの健幸づくり」があるが、ここの内容は他の項目と重複する部分もあり、項目の並びとして適切ではないのではないか。	本冊子は、これを読んだ方が、「健幸」に関することを「我がごと」として意識してもらい、具体的な行動変容に繋げたいという狙いがあり、そのためには、現行計画と同様に、世代ごとに取組を示すことが効果的であると考えています。
9	分野ごとの中間アウトカムとして、複数の指標を設定した方がよいのではないのか。	基本方針においては、個別の施策・事業の位置付けを行わないことから、取組全体の結果として現れる総合指標のみを設定し、特定の取組に対応した成果指標の設定は考えておりません。
10	基本理念は、現行計画のもの「目指せ、健幸都市くさつ！」を踏襲するのか。	上記No.3の対応に同じ
11	冊子の名称を「コンセプトブック」や「イメージブック」としてはどうか。	現計画においても課題とされている市民周知、共感いただくという点に重点を置いており、「ガイドブック(指南書)」として整理しています。
12	これは基本方針と言えるのか。計画ではないのか。	目標の実現に向けた個別の取組までを定める「基本計画」とは異なり、総計の補完的な位置付けとして、健幸都市づくりに関する普遍的な理念や基本的な方向性を指し示すものとして「基本方針」として整理しています。

幹事会(8/23)での主な指摘事項とその対応

番号	意見	対応内容
1	基本方針は、第6次総計を補完するものであるとのことだが、どういった意味でそう言っているのか。	第6次総計の基本構想における将来ビジョンとして「健幸創造都市」を掲げ、総計を推進することで健幸都市の実現に繋がるという整理を行っております。そうした中、総計では、「健幸都市づくり」に関する具体的な記述がないことから、本基本方針では、その推進にあたっての普遍的な理念や基本的な方向性を示す(補完する)ことで、各種計画の策定や事業実施の際の指針とするべく策定するものです。
2	基本方針と総計や他の関連計画との関係において、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の位置付けは示さないのか。	24頁の基本方針の位置付けの図において、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を追記しました。
3	総計の第1期基本計画の政策体系図と27頁の体系図がどうリンクしているのか分からない。	総計の政策体系図にある施策・事業を総合的に推進することで健幸都市の実現に繋がるという認識をしており、本基本方針において、個別事業・取組の位置付けは行っていないことから、両者の関係性を示すことは困難です。なお、27頁の図は、政策体系を示しているものではなく、取組の方向性を項目ごとに体系化して整理しているものです。
4	進捗管理の方法として、総計の施策評価やベンチマークを活用する、また、その際に関係の深い主要事業を抜粋することだが、具体的な評価・(対象となる事業の)選定基準等を示してほしい。また、個別事業の状況をもって、健幸都市づくりの進捗状況を評価することは難しいように思う。	具体的な評価の方法、対象事業の選定基準等については、引き続き検討をしております。
5	2頁と8頁に「健幸」の定義について記述があるが、内容を統一されたい。	2頁は、本市が考える「健幸」の定義について述べていますが、8頁は個々の「健幸づくりを進めることで実現する「健幸」の一つの形を示したものであり、前者の定義とイコールではありませんので、表現を統一することは考えておりません。
6	3頁および4頁のコラムにおいて、「地域共生社会」「ゼロカーボンシティ」の実現に繋がるとの記述があるが、SDGsについても追記すべきではないか。	SDGsについても追記しました。
7	6頁の「暮らしの質」、「健康投資」の表現が唐突で分かりにくい。	表現を修正しました。
8	14、15頁のイメージ図が何を示しているか分かりにくい。	文言の追記、またはイメージ図の変更等を検討中です。
9	16～23頁の「みんなで取り組むこと」について、事業者や各種団体等の取組は記載しないのか。	ここでの「みんな」には事業者や団体も含まれており、その内容に沿ってそれぞれの立場で取り組んでもらうことを想定しているため、あえて追記する考えはありません。
10	26頁の「健康寿命」について、この目標値が高いのか低いのか分からないので、滋賀県や全国の値を記載してはどうか。	滋賀県と全国の値を追記しました。